

日本生気象学会雑誌投稿規定

1996年5月22日改定

2004年6月12日修正

2015年12月15日改訂

1. 投稿の資格

論文の第一著者は本学会会員とする。共著者で会員でない者は別掲の掲載料金表に従い規定の投稿料を納入する。

ただし、雑誌編集委員会が必要と認めた場合には、会員以外にも投稿を依頼し、あるいは共著者として認めることがある。

すでに他雑誌などに発表されたものは、投稿できない。

2. 論文の種類

総説(4,000～12,000字程度)、原著(4,000～12,000字程度)、短報(800～3,200字程度)、資料(800～4,000字程度)、その他とする。

総説は原則として和文とし、雑誌編集委員会の依頼によるものとする。

原著、短報、資料、その他は、「執筆要領」に従い、和文または英文で記したものとする。

3. 論文の採否

雑誌編集委員会で審査し決定する。

原稿の加除訂正の要求、掲載順序の指定などは、雑誌編集委員会が行う。

4. 論文の著作権

日本生気象学会雑誌に掲載された論文の著作権は、日本生気象学会に帰属する。

5. 倫理規定の遵守

人を対象とした研究は、ヘルシンキ宣言に述べられている科学的、倫理的規範を満たしている必要がある。インフォームド・コンセントの原則を遵守し、研究対象者又はその代諾者等が、実施または継続されようとする研究に関して、当該研究の目的及び意義ならびに方法、研究対象者に生じる負担、予測される結果(リスク及び利益を含む)等について十分な説明を受け、必ず自由意志に基づく同意を得なければならない。

動物実験は科学的合理性に基づくとともに、「動物の愛護及び管理に関する法律(平成26年5月30日法律第46号)」に明文化された動物実験の国際原則である「3R(Replacement: 科学上の利用の目的を達することができる範囲において、できる限り動物を供する方法に代わり得るものを利用すること, Reduction: 科学上の目的を達することができる範囲において、できる限りその利用に供される動物の数を少なくすること, Refinement: その利用に必要な限度において、できる限りその動物に苦痛を与えない方法によってすること)」に則って立案され、実行されなければならない。

以上の研究については、しかるべき研究機関の長の許可文書の提出が必要である。また以上の遵守項目については、いずれも論文の研究方法の項で明記するものとする。

6. 校正

初校は著者と各号の担当雑誌編集委員、雑誌編集委員長が行う。

再校以後は、雑誌編集委員会が行う。

7. 原稿の送付

日本生気象学会雑誌執筆要領に依る。

8. 掲載料

別掲の通りとする。

投稿規定 5. の資料

ヘルシンキ宣言

ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則

(日本医師会訳)

1964年6月 フィンランド, ヘルシンキの第18回WMA総会で採択
 1975年10月 東京の第29回WMA総会で修正
 1983年10月 イタリア, ベニスの第35回WMA総会で修正
 1989年9月 香港, 九龍の第41回WMA総会で修正
 1996年10月 南アフリカ共和国, サマーセットウエストの第48回WMA総会で修正
 2000年10月 英国, エジンバラの第52回WMA総会で修正

A. 序言

1. 世界医師会は、ヒトを対象とする医学研究に関わる医師、その他の関係者に対する指針を示す倫理的原則として、ヘルシンキ宣言を発展させてきた。ヒトを対象とする医学研究には、個人を特定できるヒト由来の材料及び個人を特定できるデータの研究を含む。
2. 人類の健康を向上させ、守ることは、医師の責務である。医師の知識と良心は、この責務達成のために捧げられる。
3. 世界医師会のジュネーブ宣言は、「私の患者の健康を私の第一の関心事とする」ことを医師に義務づけ、また医の倫理の国際綱領は、「医師は患者の身体的及び精神的な状態を弱める影響をもつ可能性のある医療に際しては、患者の利益のためにのみ行動すべきである」と宣言している。
4. 医学の進歩は、最終的にはヒトを対象とする試験に一部依存せざるを得ない研究に基づく。
5. ヒトを対象とする医学研究においては、被験者の福利に対する配慮が科学的及び社会的利益よりも優先されなければならない。
6. ヒトを対象とする医学研究の第一の目的は、予防、診断及び治療方法の改善並びに疾病原因及び病理の理解の向上にある。最善であると証明された予防、診断及び治療方法であっても、その有効性、効果、利用し易さ及び質に関する研究を通じて、絶えず再検証されなければならない。

7. 現在行われている医療や医学研究においては、ほとんどの予防、診断及び治療方法に危険及び負担が伴う。
8. 医学研究は、すべての人間に対する尊敬を深め、その健康及び権利を擁護する倫理基準に従わなければならない。弱い立場にあり、特別な保護を必要とする研究対象集団もある。経済的及び医学的に不利な立場の人々が有する特別のニーズを認識する必要がある。また、自ら同意することができないまたは拒否することができない人々、強制下で同意を求められるおそれのある人々、研究からは個人的に利益を得られない人々及びその研究が自分のケアと結びついている人々に対しても、特別な注意が必要である。
9. 研究者は、適用される国際的規制はもとより、ヒトを対象とする研究に関する自国の倫理、法及び規制上の要請も知らなければならない。いかなる自国の倫理、法及び規制上の要請も、この宣言が示す被験者に対する保護を弱め、無視することが許されてはならない。

B. すべての医学研究のための基本原理

10. 被験者の生命、健康、プライバシー及び尊厳を守ることは、医学研究に携わる医師の責務である。
11. ヒトを対象とする医学研究は、一般的に受け入れられた科学的原則に従い、科学的文献の十分な知識、他の関連した情報源及び十分な実験並びに適切な場合には動物実験に基づかなければならない。

12. 環境に影響を及ぼすおそれのある研究を実施する際の取扱いには十分な配慮が必要であり、また研究に使用される動物の生活環境も配慮されなければならない。
13. すべてヒトを対象とする実験手続の計画及び作業内容は、実験計画書の中に明示されていなければならない。この計画書は、考察、論評、助言及び適切な場合には承認を得るために、特別に指名された倫理審査委員会に提出されなければならない。この委員会は、研究者、スポンサー及びそれ以外の不適當な影響を及ぼすすべてのものから独立であることを要する。この独立した委員会は、研究が行われる国の法律及び規制に適合していなければならない。委員会は進行中の実験をモニターする権利を有する。研究者は委員会に対し、モニターの情報、特にすべての重篤な有害事象について情報を報告する義務がある。研究者は、資金提供、スポンサー、研究関連組織との関わり、その他起こり得る利害の衝突及び被験者に対する報奨についても、審査のために委員会に報告しなければならない。
14. 研究計画書は、必ず倫理的配慮に関する言明を含み、またこの宣言が言明する諸原則に従っていることを明示しなければならない。
15. ヒトを対象とする医学研究は、科学的な資格のある人によって、臨床的に有能な医療担当者の監督下においてのみ行われなければならない。被験者に対する責任は、常に医学的に資格のある人に所在し、被験者が同意を与えた場合でも、決してその被験者にはない。
16. ヒトを対象とするすべての医学研究プロジェクトは、被験者または第三者に対する予想し得る危険及び負担を、予見可能な利益と比較する注意深い評価が事前に行われていなければならない。このことは医学研究における健康なボランティアの参加を排除しない。すべての研究計画は一般に公開されていなければならない。
17. 医師は、内在する危険が十分に評価され、しかもその危険を適切に管理できることが確信できない場合には、ヒトを対象とする医学研究に従事することを控えるべきである。医師は、利益よりも潜在する危険が高いと判断される場合、または有効かつ利益のある結果の決定的証拠が得られた場合には、すべての実験を中止しなければならない。
18. ヒトを対象とする医学研究は、その目的の重要性が研究に伴う被験者の危険と負担にまさる場合にのみ行われるべきである。これは、被験者が健康なボランティアである場合は特に重要である。
19. 医学研究は、研究が行われる対象集団が、その研究の結果から利益を得られる相当な可能性がある場合にのみ正当とされる。
20. 被験者はボランティアであり、かつ十分説明を受けた上でその研究プロジェクトに参加するものであることを要する。
21. 被験者の完全無欠性を守る権利は常に尊重されることを要する。被験者のプライバシー、患者情報の機密性に対する注意及び被験者の身体的、精神的完全無欠性及びその人格に関する研究の影響を最小限に留めるために、あらゆる予防手段が講じられなければならない。
22. ヒトを対象とする研究はすべて、それぞれの被験予定者に対して、目的、方法、資金源、起こり得る利害の衝突、研究者の関連組織との関わり、研究に参加することにより期待される利益及び起こり得る危険並びに必然的に伴う不快な状態について十分な説明がなされなければならない。対象者はいつでも報復なしに、この研究への参加を取りやめ、または参加の同意を撤回する権利を有することを知らされなければならない。対象者がこの情報を理解したことを確認した上で、医師は対象者の自由意志によるインフォームド・コンセントを、望ましくは文書で得なければならない。文書による同意を得ることができない場合には、その同意は正式な文書に記録され、証人によって証明されることを要する。
23. 医師は、研究プロジェクトに関してインフォームド・コンセントを得る場合には、被験者が医師に依存した関係にあるか否か、または強制の下に同意するおそれがあるか否かについて、特に注意を払わなければならない。

い。もしそのようなことがある場合には、インフォームド・コンセントは、よく内容を知り、その研究に従事しておらず、かつそうした関係からまったく独立した医師によって取得されなければならない。

24. 法的無能力者、身体的若しくは精神的に同意ができない者、または法的に無能力な未成年者を研究対象とするときには、研究者は適用法の下で法的な資格のある代理人からインフォームド・コンセントを取得することを要する。これらのグループは、研究がグループ全体の健康を増進させるのに必要であり、かつこの研究が法的能力者では代替して行うことが不可能である場合に限り、研究対象に含めることができる。
25. 未成年者のように法的無能力であるとみられる被験者が、研究参加についての決定に賛意を表することができる場合には、研究者は、法的な資格のある代理人からの同意のほかさらに未成年者の賛意を得ることを要する。
26. 代理人の同意または事前の同意を含めて、同意を得ることができない個人被験者を対象とした研究は、インフォームド・コンセントの取得を妨げる身体的／精神的状況がその対象集団の必然的な特徴であるとすれば、その場合に限り行わなければならない。実験計画書の中には、審査委員会の検討と承認を得るために、インフォームド・コンセントを与えることができない状態にある被験者を対象にする明確な理由が述べられていなければならない。その計画書には、本人あるいは法的な資格のある代理人から、引き続き研究に参加する同意をできるだけ早く得ることが明示されていなければならない。
27. 著者及び発行者は倫理的な義務を負っている。研究結果の刊行に際し、研究者は結果の正確さを保つよう義務づけられている。ネガティブな結果もポジティブな結果と同様に、刊行または他の方法で公表利用されなければならない。この刊行物中には、資金提供の財源、関連組織との関わり及び可能性のあるすべての利害関係の衝突が明示されていなければならない。この宣言が策定した原則に沿わ

ない実験報告書は、公刊のために受理されてはならない。

C. メディカル・ケアと結びついた医学研究のための追加原則

28. 医師が医学研究をメディカル・ケアと結びつけることができるのは、その研究が予防、診断または治療上価値があり得るとして正当であるとされる範囲に限られる。医学研究がメディカル・ケアと結びつく場合には、被験者である患者を守るためにさらなる基準が適用される。
29. 新しい方法の利益、危険、負担及び有効性は、現在最善とされている予防、診断及び治療方法と比較考量されなければならない。ただし、証明された予防、診断及び治療方法が存在しない場合の研究において、プラシーボまたは治療しないことを選択を排除するものではない。
30. 研究終了後、研究に参加したすべての患者は、その研究によって最善と証明された予防、診断及び治療方法を利用できることが保障されなければならない。
31. 医師はケアのどの部分が研究に関連しているかを患者に十分説明しなければならない。患者の研究参加の拒否が、患者と医師の関係を断じて妨げるべきではない。
32. 患者治療の際に、証明された予防、診断及び治療方法が存在しないときまたは効果がないとされているときに、その患者からインフォームド・コンセントを得た医師は、まだ証明されていないまたは新しい予防、診断及び治療方法が、生命を救い、健康を回復し、あるいは苦痛を緩和する望みがあると判断した場合には、それらの方法を利用する自由があるというべきである。可能であれば、これらの方法は、その安全性と有効性を評価するために計画された研究の対象とされるべきである。すべての例において、新しい情報は記録され、また適切な場合には、刊行されなければならない。この宣言の他の関連するガイドラインは、この項においても遵守されなければならない。

総説以外（原著，短報，資料，その他）の執筆要領

1. 投稿方法

原稿は表紙，本文，図，表，和文・英文抄録などすべてを含めてPDF化し，電子メールでの提出とする。送付するファイルとして「事務局保管用」と「査読用」をそれぞれ1ファイルずつ，下記学会誌編集室のアドレスに電子メールで送ること。尚，「査読用」は執筆者を特定することが可能と思われる記述（氏名，所属機関名，注や謝辞及び科学研究費補助金等による研究への言及に関する情報）を全て削除し，特定できないようにする。原稿は，以下の2つの方法のいずれかで投稿する。

- 1) 原稿は，縦A4版用紙に横書きで，上下左右それぞれ30mm程度の余白をとる。和文の場合は，11ポイントの明朝体フォントを用いて，1行40字×30行（1,200字）／頁に整える。英文の場合は，11ポイントのTimes系のフォントを用いて，30行／頁に整える。いずれの場合にも，すべての頁の下部中央に通しの頁番号を表示する。
- 2) 原稿は，日本生気象学会ホームページ雑誌執筆要領に添付されているカメラレディ形式のテンプレート書式をダウンロードして，本文，抄録および図表を記載する。文字のサイズおよびフォントは，ダウンロードしたテンプレートに記載された書式に整える。別途，原稿の表紙をつける。

送付先：日本生気象学会雑誌編集室 株式会社ソウブン・ドットコム社内

〒116-0011 東京都荒川区西尾久7-12-16

TEL 03-3893-3692 FAX 03-3893-3603 e-mail : seikisho@soubun.com

尚，掲載決定後に組み版方法について編集室より著者に問い合わせがある。

- 3) 版下まで投稿者が作成する場合（カメラレディでの入稿）：掲載料は不要。テンプレートと原稿作成要領は編集室より送付される。この場合，カメラレディで入稿された原稿の修正等を印刷会社に依頼する場合には，別途に料金が必要となる（掲載料金表参照）。
- 4) データを入稿し，印刷会社で組を行う場合：2,000円／頁（図表1点500円，写真1点1,000円）の組み版代が必要。この場合にも組み版用原稿を電子媒体の形で入稿する。

2. 原稿の表紙

上半分に論文の種類（原著，短報，資料，その他の別），表題，著者名，所属機関名およびその所在地（以上英文付記），下半分には本文・抄録・図・表などの枚数，編集者への希望事項，連絡先住所・電話番号，e-mailアドレス，同様の論文を他誌に投稿していないか，人を対象とする研究はヘルシンキ宣言に則っているか，動物を対象とする実験は「動物の愛護及び管理に関する法律」に明文化された動物実験の国際原則である3Rに則っているかを明記する。

3. 抄録

和文原稿，英文原稿ともに英文抄録（300語以内）と和文要旨（200～400字以内）をつける。日本語と英語でそれぞれ5つ以内のキーワード，Key wordsを記入する。この抄録は論文の冒頭に掲げるので，論文の内容が理解できるよう表現に注意すること。

4. 原稿（本文）

本文は，原則として緒言，材料・方法，結果，考察（結論），文献の順とし，完全な原稿とする。

5. 倫理規定の順守

投稿規定5.に関連して，倫理委員会の審査を受けている場合は，倫理規定の遵守について論文内に明記すること。

6. 文体と用語

和文原稿の場合は，原則として常用漢字，新かなづかいとし，外国語・外国固有名詞・化学物質名・特別な術語などは，原綴でタイプする。外来語・動植物名などは片かな，数字は算用数字を使用し，単

位は原則として国際単位系に従う。なお、学術用語は各学会で認められた用語を用い、特殊な用語はできるだけ避ける。英文原稿の場合は、原則として *native speaker* の校閲を経たものとする。

7. 図表

図表の説明は、表題を含めてすべて英文とし、説明については英文で表現しがたい場合は和文でも可とする。

〈例〉 Fig. 1. Relationship between the

Table 1. The comparisons of

図は原図をそのまま縮小製版するので、図中の用語や記号に不統一のないように黒色で鮮明に描くこと。また、幅 75 ミリあるいは 165 ミリ程度に縮小されることを考慮して、図中の文字は大きめに、線は太めに記入すること。

8. 文献引用

文献を引用した場合、本文中の引用箇所（著者名、西暦年）を記入し、末尾文献表にアルファベット順に列記する。

〈例〉本文中（青木ほか，1984; Bond *et al.*, 1958）

（Vanwyk and Underwood, 1980; 喜多と菊池，1988）

文献表の記述は、下の要領に従うこと。

雑誌 著者名，共著者も全員（西暦年）：表題，雑誌公称略名，巻数：始頁－終頁。

単行本 著者名（西暦年）：表題，編者名（編），書籍名，発行所（同代表所在地，必要なら国名），pp. 引用論文の始頁－終頁，または引用部分の始頁－終頁。

ただし、雑誌公称略名が特定できない場合は雑誌正式名称でも可とする。雑誌公称略名については、例えば、次のホームページで情報を得ることができる。

NLM Catalog: Journals referenced in the NCBI Databases (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>)

文 献

1. 阿岸祐幸（1992）：気候療法。日本生気象学会編，生気象学の事典，朝倉書店（東京），pp. 2-3.
2. 青木 緑，春野花子（1984）：環境中の汚染物質の季節による消長について。日生気誌，**21**: 9-20.
3. Bond, T.E., Kelly, C.F. and Heitman, H. (1958): Improving livestock environment. *J. Hered.*, **49**: 75-79.
4. 環境省（2014）：熱中症環境保健マニュアル。 http://www.wbgt.env.go.jp/heatstroke_manual.php (2015/10/22 閲覧)
5. Vanwyk, J.J. and Underwood, L.E. (1980): Growth hormone, somatomedins, and growth failure. In: Kriegler, D.T. and Hughes, J.C. (eds.), *Neuroendocrinology*, Sinauer, Sunderland (USA), pp. 299-309.

掲 載 料 金 表

1. 掲載料

著者自身によるカメラレディ原稿提出の場合は無料。印刷会社による組版の場合は、2,000 円／頁（図表 1 点 500 円，写真 1 点 1,000 円）。

2. 非会員の投稿料

非会員の共著者は 1 人 1 編につき 4,000 円を納入する。

3. 図のカラー掲載は別途に費用を申し受ける。

4. 上記以外に、組版原稿における校正時の大幅修正・変更など特別に要する費用については別途に申し受ける。カメラレディ原稿については、図はめ込み：1 点 700 円。図表の作成，修正：依頼があった時点で料金を協議。

5. 別刷料 (50 部単位)

部数	ページ数								表紙 (追加)
	2 (1 枚)	4 (2 枚)	6 (3 枚)	8 (4 枚)	10 (5 枚)	12 (6 枚)	14 (7 枚)	16 (8 枚)	
50	1,500	3,000	4,500	6,000	7,500	9,000	10,500	12,000	2,000
100	1,800	3,600	5,400	7,200	9,000	10,800	12,600	14,400	4,000
150	2,250	4,500	6,750	9,000	11,250	13,500	15,750	18,000	6,000
200	2,600	5,200	7,800	10,400	13,000	15,600	18,200	20,800	8,000
250	3,000	6,000	9,000	12,000	15,000	18,000	21,000	24,400	10,000
300	3,300	6,600	9,900	13,200	16,500	19,800	23,100	26,400	12,000

* 送料は別に実費を申し受ける。

** 上記以外は別計算とする。

6. 上記費用は変更されることがある

総説の執筆要領

1. 投稿方法

原稿は表紙、本文、図、表、和文・英文抄録などすべてを含めて WORD ファイルとし、電子メールでの提出とする。原稿は、以下の方法で投稿する。

- 1) 原稿は、縦 A4 版用紙に横書きで、上下左右それぞれ 30 mm 程度の余白をとる。和文の場合は、11 ポイントの明朝体フォントを用いて、1 行 40 字×30 行 (1,200 字) / 頁に整える。英文の場合は、11 ポイントの Times 系のフォントを用いて、30 行 / 頁に整える。いずれの場合にも、すべての頁の下部中央に通しの頁番号を表示する。

送付先：日本生気象学会雑誌編集室 株式会社ソウブン・ドットコム社内

〒 116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16

TEL 03-3893-3692 FAX 03-3893-3603 e-mail : seikisho@soubun.com

- 2) 入稿された原稿を編集委員会で査読し、掲載決定後に印刷会社に最終原稿を提出して組版を行う。

2. 原稿の表紙

上半分に論文の種類 (原著、短報、資料、その他の別)、表題、著者名、所属機関名およびその所在地 (以上英文付記)、下半分には本文・抄録・図・表などの枚数、編集者への希望事項、連絡先住所・電話番号、e-mail アドレス、同様の論文を他誌に投稿していないか、人を対象とする研究はヘルシンキ宣言に則っているか、動物を対象とする実験は「動物の愛護及び管理に関する法律」に明文化された動物実験の国際原則である 3R に則っているかを明記する。

3. 抄録

和文原稿、英文原稿ともに英文抄録 (300 語以内) と和文要旨 (200~400 字以内) をつける。日本語と英語でそれぞれ 5 つ以内のキーワード、Key words を記入する。この抄録は論文の冒頭に掲げるので、論文の内容が理解できるよう表現に注意すること。

4. 原稿 (本文)

原則として緒言、本文、終わりに、文献の順とする。

5. 倫理規定の順守

投稿規定 5. に関連して、倫理委員会の審査を受けている場合は、倫理規定の遵守について論文内に明記すること。

6. 文体と用語

和文原稿の場合は、原則として常用漢字、新かなづかいとし、外国語・外国固有名詞・化学物質名・特別な術語などは、原綴でタイプする。外来語・動植物名などは片かな、数字は算用数字を使用し、単

位は原則として国際単位系に従う。なお、学術用語は各学会で認められた用語を用い、特殊な用語はできるだけ避ける。英文原稿の場合は、原則として *native speaker* の校閲を経たものとする。

7. 図表

図表の説明は、表題を含めてすべて英文とし、説明については英文で表現しがたい場合は和文でも可とする。

〈例〉 Fig. 1. Relationship between the

Table 1. The comparisons of

図は原図をそのまま縮小製版するので、図中の用語や記号に不統一のないように黒色で鮮明に描くこと。また、幅 75 ミリあるいは 165 ミリ程度に縮小されることを考慮して、図中の文字は大きめに、線は太めに記入すること。

8. 文献引用

文献を引用した場合、本文中の引用箇所（著者名、西暦年）を記入し、末尾文献表にアルファベット順に列記する。

〈例〉本文中（青木ほか，1984; Bond *et al.*, 1958）

（Vanwyk and Underwood, 1980; 喜多と菊池，1988）

文献表の記述は、下の要領に従うこと。

雑誌：著者名，共著者も全員（西暦年）：表題．雑誌公称略名，巻数：始頁－終頁．

単行本：著者名（西暦年）：表題．編者名（編），書籍名，発行所（同代表所在地，必要なら国名）
pp. 引用論文の始頁－終頁，または引用部分の始頁－終頁．

ただし、雑誌公称略名が特定できない場合は雑誌正式名称でも可とする。雑誌公称略名については、例えば、次のホームページで情報を得ることができる。

NLM Catalog: Journals referenced in the NCBI Databases (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>)

〈例〉

文 献

1. 阿岸 幸 (1992) : 気候療法. 日本生気象学会編, 生気象学の事典, 朝倉書店 (東京), pp. 2-3.
2. 青木 緑, 春野花子 (1984) : 環境中の汚染物質の季節による消長について. 日生氣誌, **21**: 9-20.
3. Bond, T.E., Kelly, C.F. and Heitman, H. (1958): Improving livestock environment. *J. Hered.*, **49**: 75-79.
4. 環境省 (2014) : 熱中症環境保健マニュアル. http://www.wbgt.env.go.jp/heatstroke_manual.php (2015/10/22 閲覧)
5. Vanwyk, J.J. and Underwood, L.E. (1980): Growth hormone, somatomedins, and growth failure. In: Kriegler, D.T. and Hughes, J.C. (eds.), *Neuroendocrinology*, Sinauer, Sunderland (USA), pp. 299-309.

日本生気象学会雑誌原稿作成要領

本稿は日本生気象学会雑誌への投稿をカメラレイでおこなわれるかたのための原稿作成要領です。カメラレイとは、原稿作成者の作った原稿をそのままオフセット印刷するもので、原稿作成者の原稿が校正なしにそのまま本の1頁となりますので、充分注意して作成してください。

基本構成

日本生気象学会雑誌は別紙仕様サンプルを参考のうえ、作成して下さい。

基本構成はA4判、2段組、1段22字×44行、余白は上32mm、下20mm、左・右23mmに設定し、本文はコンマ(,)、ピリオド(.)をご使用ください。また、図表や写真もこの中におさまるように配置してください。

文字サイズ

和文	タイトル	15ポイント/MS明朝
	サブタイトル	13ポイント/MS明朝
	著者名	11ポイント/MS明朝
	見出し	11ポイント/MSゴシック
	本文	10ポイント/MS明朝
欧文	所属、和文要旨、キーワード、文献、受付・受理日、別刷請求先	9ポイント/MS明朝
	タイトル	15ポイント/Times New Roman
	サブタイトル	13ポイント/Times New Roman
	著者名	11ポイント/Times New Roman
	所属、英文要旨、Key words、文献、Corresponding Author Address	9ポイント/Times New Roman

段抜き

横幅の広い図表などで、段抜き(2段にわたる)をする場合は、字数の計算にご注意ください。

欧文

欧文は基本的に半角でご記入ください。ロシア文字、ギリシア文字なども、半角フォントをお使いいただく方がきれいにしあがります。記号類もシンボルフォントを利用するなどして、全角フォ

ントをつかわない方がきれいにしあがります。

数字

2桁以上の数字は半角で記入してください。1桁の場合も、よほどこだわりのある場合をのぞき、半角にしてください。

半角カタカナ

半角カタカナは基本的に使わないでください。

タイトル

英文タイトルは、文頭と固有名詞のみ単語の先頭文字を大文字に、それ以外は小文字にしてください。

サブタイトル

サブタイトルは【かっこ】で囲ったり、斜体にするなど、日本生気象学会雑誌にない書き方はしないでください。

サブサブタイトル

サブタイトルの下位見出し、サブサブタイトル以下の下位タイトルについては、任意におつくりください。ただし、あまり深い下位構造にしますと、見にくくなりますので、せいぜいサブサブタイトルにとどめ、あとは、箇条書きにしてください。

図

図は、1200 dpi モノクロ 2 値の Tiff データを原稿原稿のデータ上に貼り付けてください。

表

表は、1段におさまるようにしてください。表のタイトル、表中は9ポイント(MS明朝/Times New Roman)で作成してください。表は、できるだけ罫線のみで作成されるとき

いにしあがります。

抄 録

和文・英文抄録，和・英キーワードのみ，左右
32 mm の余白を作ってください。

文 献

文献リストは，日本生気象学会雑誌の各巻1号
に掲載の執筆要領に従い記載してください。

〈例〉

青木緑，春野花子，秋山登（1984）：環境中の汚
染物質の季節による消長について，日生気誌，

21: 9-20.

Bond, T.E., Kelly, C.F. and Heitman, H. (1958):
Improving livestock environment. *J. Head.*, **49**: 75-
79.

阿部祐幸（1992）：気候療法．日本生気象学会編，
生気象学の辞典，朝倉書店（東京），pp. 2-3.

Vanwyk, J.J. and Underwood, L.E. (1980): Growth
hormone, somatomedins, and growth failure. In:
Kriegler, D.T. and Hughes, J.C. (eds.), *Neuroendo-
crinology*, Sinauer, Sunderland (USA), pp. 299-
309.

※作成が完了されましたら，テンプレート（Word）ファイルとPDF ファ
イルを，メール添付にて編集室（seikisho@soubun.com）宛にお送りく
ださい。

日本語タイトルをここに書き入れます

English titles

(英文タイトルは文頭と固有名詞のみ単語の先頭文字を大文字, それ以外は小文字に)

著者名¹, 著者名²

English Name¹, English Name²

¹所属学部学科 ²所属学部学科

¹English affiliation, ²English affiliation

(受付 年 月 日 / 受理 年 月 日)

和文要旨 (200~400字) がはいるます。9ポイントで入力してください。

Grid of 10 rows and 80 columns of empty boxes for Japanese abstract input.

キーワード: □□□□, □□□□, □□□□・・・

This space is for English Abstract written in 9 point.

Grid of 10 rows and 80 columns of empty boxes for English abstract input.

Key words: □□□□, □□□□, □□□□・・・

1. 見出しは 11 ポイント

ントで入力してください。

Grid of 1 row and 40 columns of empty boxes for heading input.

ここからが本文記入となります。本文は 10 ポイ

Grid of 1 row and 40 columns of empty boxes for main text input.

